

TDCSOFT Report

第72期 中間報告

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

株主の皆様へ



代表取締役社長
小林 裕嘉

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、「TDCSOFT Report 第72期中間報告」をお届けいたします。

当社は2022年4月から2025年3月における中期経営計画「Shift to the Smart SI Plus」に基づき「次世代型システムインテグレーター」を目指し、市場や社会の潜在ニーズを捉えた付加価値の高いITサービスを提供していく基本コンセプトを前中期経営計画から継続しており、デジタル技術の新たな潮流に対応した次世代型のシステムインテグレーション（以下SI）事業へと進化することをビジョンに掲げております。

中期経営計画のビジョンを実現するために、当社グループは三つの基本戦略を定めております。

一つ目の「高付加価値SIサービスの追求」では、顧客のDX推進に対して、最新の要素技術を活用して顧客の価値創造ニーズに応えるサービス事業を推進しております。二つ目の「SIモデル変革の推進」では、高付加価値SIサービスを実現するための基盤づくりや、高生産性と高品質を両立したSIプロセスの整備などをイノベーション的アプローチで実現し、他社との差別化を図る施策を推進しております。三つ目の「事業領域の拡大」では、多様な顧客のITニーズに対応するサービス・製品等の販売事業や、顧客のデジタル変革を戦略策定からサポートするコンサルティング事業、開発からスタートして運用・保守まで集約したマネージドサービスの提供等への事業領域拡大へ向けた施策を推進しております。

2025年3月期中間期の業績は、売上高は21,349百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は2,401百万円（前年同期比29.2%増）、経常利益は2,442百万円（前年同期比26.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,652百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

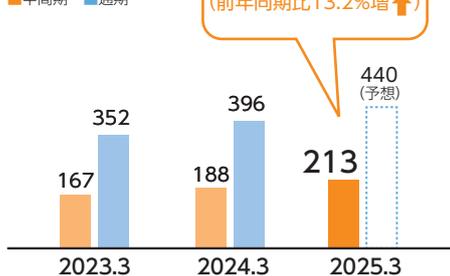
株主の皆様には、引き続きご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

▶ 業績ハイライト - Financial Highlight -

売上高

(単位：億円)

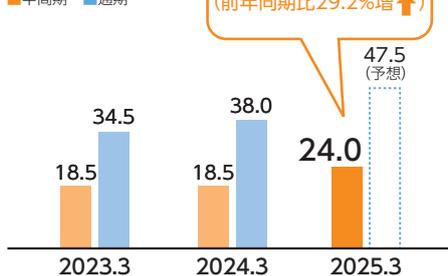
■ 中間期 ■ 通期



営業利益

(単位：億円)

■ 中間期 ■ 通期



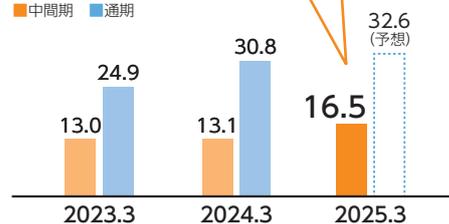
親会社株主に

帰属する

中間(当期)純利益

(単位：億円)

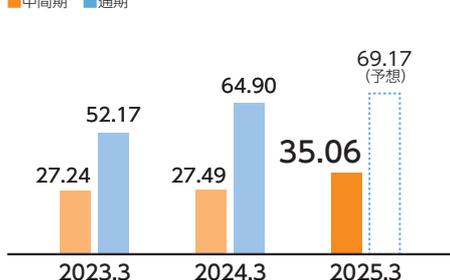
■ 中間期 ■ 通期



1株当たり中間(当期)純利益

(単位：円)

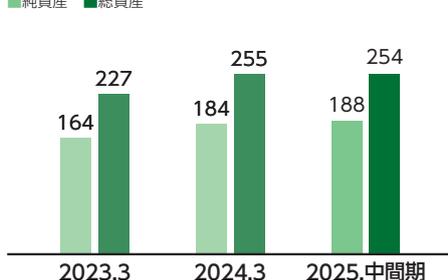
■ 中間期 ■ 通期



純資産・総資産

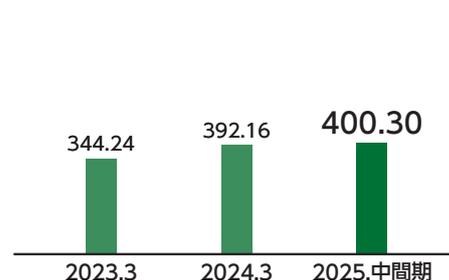
(単位：億円)

■ 純資産 ■ 総資産



1株当たり純資産

(単位：円)



※当社は、2024年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。各連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して「1株当たり中間(当期)純利益」「1株当たり純資産」を算出しております。

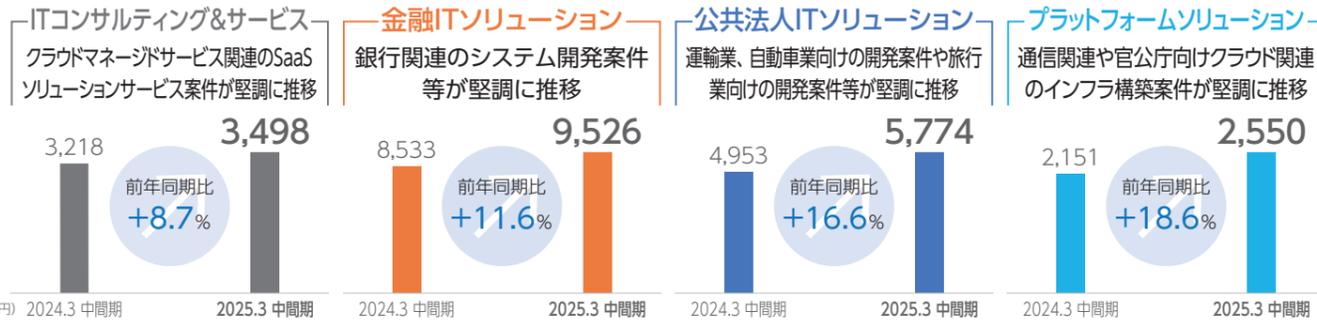
2025年3月期中間期 決算概況(連結)

(単位:百万円)	2025年3月期中間期	利益率	前年同期比	2024年3月期中間期
売上高	21,349	—	+13.2%	18,856
売上総利益	4,579	21.4%	+13.3%	4,041
営業利益	2,401	11.2%	+29.2%	1,858
経常利益	2,442	11.4%	+26.5%	1,930
親会社株主に帰属する中間純利益	1,652	7.7%	+26.1%	1,310

【ハイライト】

- 各事業分野は堅調に推移し売上高は計画を上回り増収を達成
- 販売管理費は、昨年度実施した本社移転コストが低減されましたが、将来の事業拡大に向けた投資を積極的に拡大したことにより前年同期並み
- 営業利益は増収効果により増益

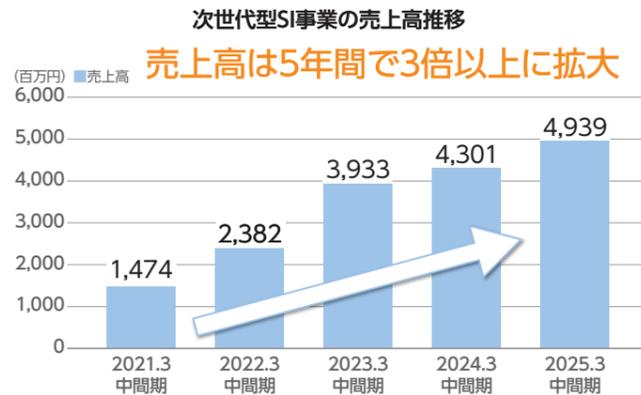
2025年3月期中間期 事業分野別概況



主要施策の状況

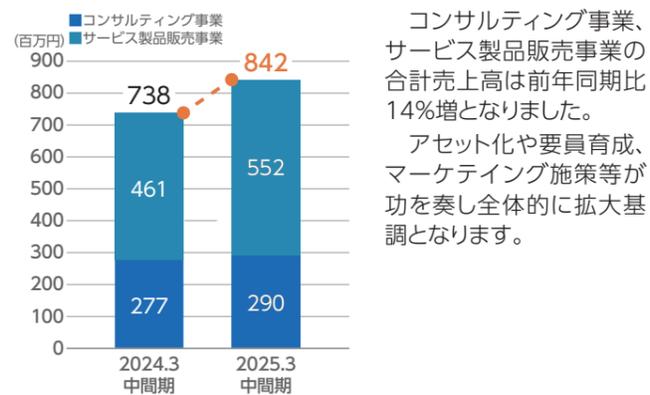
－ 高付加価値SIサービスの追求 －

次世代型SI事業はアジャイル開発やクラウド分野、マイグレーション案件等が牽引



－ 事業領域の拡大 －

ケイパビリティを獲得し事業領域を拡大



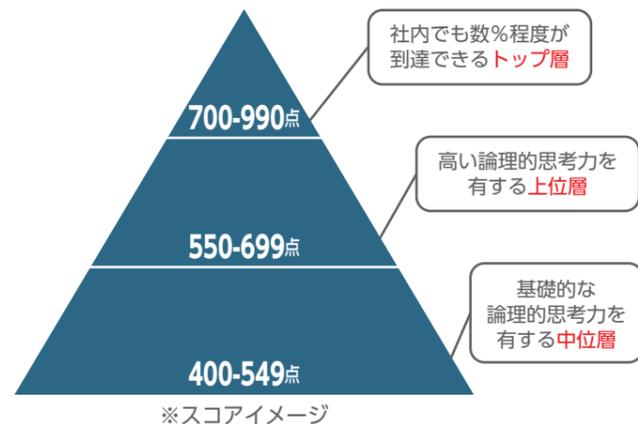
コンサルティング事業、サービス製品販売事業の合計売上高は前年同期比14%増となりました。アセット化や要員育成、マーケティング施策等が功を奏し全体的に拡大基調となります。

－ SIモデル変革の推進 －

「アルゴリズム社内認定制度」を導入

社員一人ひとりのスキルアップを支援し、お客様に最高のサービスを提供できるよう、課長職以下の全社員（約1,900名）を対象に、当社独自の『アルゴリズム社内認定制度』を導入しました。

論理的思考力向上施策として導入した本制度は、個人のアルゴリズムレベルをTOEICのようにスコア形式で表す、当社オリジナルの社内認定制度です。本制度を活用することで、社員一人ひとりが目標を持って学習に取り組むことができ、チーム内でも有識者が初級者に育成を行うきっかけを創出することができます。



TOPICS

NTTデータ様の「コアビジネスパートナー」に継続認定

NTTデータ様の「コアビジネスパートナー」に継続して認定されました。これは品質を担保しながら長年にわたるシステム開発に関するプロジェクト推進の貢献において評価されたものです。

さらに、NTTデータ佐々木社長より、長年のパートナーシップに対する感謝の意が込められた感謝状を拝受いたしました。これまでの協力関係を振り返り、今後のさらなる発展を願う温かいお言葉を賜りました。



オリジナル新テンプレート「Snap ITSM」提供開始

ITサービス管理を変革して生産性を向上させるServiceNowのIT Service Management (ITSM) の導入を簡易化した、当社オリジナルの新テンプレートである「Snap ITSM (スナップ アイティエスエム)」を開発し、提供を開始しました。

DX推進に取り組んでいるお客様の負担を軽減するとともに業務効率化と改善の効果を最大化させることを目的としております。

ベストプラクティスをパッケージングしているため要件定義や開発は不要。お申し込みから1週間で利用を開始でき、コストも大幅に削減できます。



「Styleflow」が「ITreview Grid Award 2024 Fall」で「Leader」を受賞

当社のクラウド型ワークフローシステムである「Styleflow (スタイルフロー)」が、アイティクラウド株式会社が主催する「ITreview Grid Award 2024 Fall」のワークフローシステム部門において、最高位である「Leader」を受賞しました。

Styleflowは、業務フローのデジタル化と効率化をサポートするクラウド型ワークフローシステムです。各種申請や承認プロセスを電子化することで、企業内の手続きの簡素化やペーパーレス化を実現。

使いやすいインターフェースと柔軟な運用設計により、さまざまな業種・規模の企業で導入されています。



生成AI搭載のユーザーインタビューガイド作成アプリ「しつもんクラフト」β版をリリース

「しつもんクラフト」は、インタビュー対象者の潜在ニーズを引き出すための質問作成を支援し、UXデザインの質向上と業務効率化に貢献します。「しつもんクラフト」β版はChatGPT、Miro、当社のUXデザインノウハウを活用しており、インタビューの準備時間を大幅に短縮できます。また、どなたでも無料でご利用いただけます。

今後の展開としては、さらなる機能強化や有償版のリリースも予定しております。



2025年3月期 通期見通しについて

●業績予想

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	EPS (円)	配当予想(円)
前回発表予想	43,000	4,300	4,600	3,090	65.58	期末 24.00
今回修正予想	44,000	4,750	4,850	3,260	69.17	合計 24.00

●受注高、売上高は計画を上回り推移しており、2024年5月10日に修正した中期経営計画の業績目標の売上高430億円をさらに440億円に2.3%の上方修正いたしました。

●利益面においては、各事業分野が堅調に推移する状況を受け、将来の事業拡大に向けた投資を積極的に追加拡大することを加味し、上記のとおり修正いたしました。

会社概要 (2024年12月現在)

会社名	TDCソフト株式会社 TDC SOFT Inc.
創業	1962年(昭和37年)10月16日
上場市場	東京証券取引所 プライム市場(証券コード4687)
資本金	9億7,040万円
事業内容	・ITコンサルティング&サービス ・金融ITソリューション ・公共法人ITソリューション ・プラットフォームソリューション
事業所	本社 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス 4階、5階 Techno Growth Center Shinjuku 東京都渋谷区代々木3丁目22番7号 新宿文化クイントビル 7階 関西支社 大阪府大阪市中央区北浜三丁目1番18号 島ビル 2階、7階
グループ従業員数	2,336名

役員	代表取締役会長 橋本 文雄 代表取締役社長 小林 裕嘉 取締役専務執行役員 小田島吉伸 取締役常務執行役員 高瀬美佳子 取締役執行役員 河合 靖雄 取締役執行役員 北川 和義 取締役執行役員 大垣 剛 取締役執行役員 熊田 稔 取締役(社外) 桑原 茂 取締役(社外) 中川 順三 取締役(社外) 川崎久実子 取締役(社外) 倉本 昌和	常勤監査役 森 徹宏 常勤監査役 野崎 聡 監査役 岡松 宏明 常務執行役員VP 真下 研一 上席執行役員VP 村上 知也 執行役員GM 瓜生 力 執行役員FL 上條 英樹 執行役員GM 村上 裕二 執行役員GM 尾崎 集一 執行役員EP 河口 聡 執行役員GM 鈴木 修一
----	---	---

※呼称について
VP (ヴァイスプレジデント)
GM (ジェネラルマネージャー)
FL (フェロー)
EP (エグゼクティブプロデューサー)



決算説明会資料と動画

決算の概況などについて、社長の小林と、取締役の大垣が説明しております。ぜひご覧ください。

《TDCソフト 決算説明会》で検索

関係会社 **TDCフューテック株式会社**
東京都中央区東日本橋三丁目6番11号 日本橋橋ビル 2階
エールビジネスコンサルティング株式会社
東京都千代田区神田須田町2丁目17番 神田INビル 4階

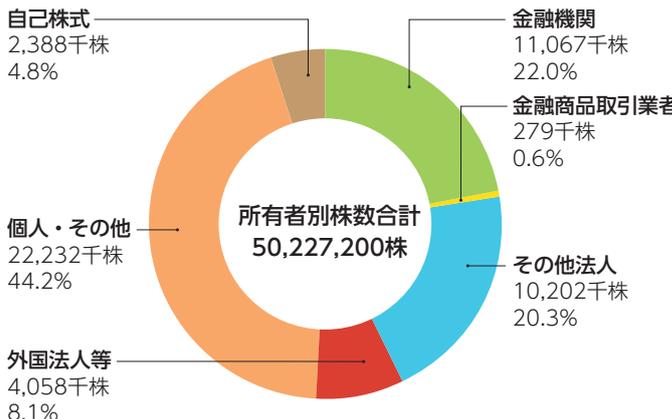
株式情報 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,227,200株
株主数	4,550名

大株主	持株数(株)	持株比率
有限会社野崎事務所	6,235,400	13.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,765,400	10.0%
TDC社員持株会	4,111,600	8.6%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,680,200	3.5%
野崎 聡	1,610,400	3.4%
株式会社IDホールディングス	1,200,000	2.5%
野崎 哲	1,138,400	2.4%
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,127,400	2.4%
藤井 吉文	1,089,400	2.3%
株式会社みずほ銀行	1,056,000	2.2%

(注)当社は、自己株式2,388,158株を保有しております。
また、持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ (株式に関する手続きについて)

事業年度	4月1日~翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.tdc.co.jp/ やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、日本経済新聞 に掲載いたします。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	株主名簿管理人	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	特別口座の口座管理機関	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	【手続き書類のご請求方法】 ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選べません。

TDCソフト株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス 4階、5階
<https://www.tdc.co.jp/>